

第 43 回 北斗最新医療セミナー

2015.11.13 (金曜日)

時間: 18:00~

場所: 十勝リハビリ

参加
無料

参加対象
一般市民、
北斗職員、
管内医療機関
関係者

参加ご希望の方は
事前に下記へ電話
または FAX でお
名前・電話番号・
人数をご連絡くだ
さい。

テーションセンター3階会議室

帯広市稲田町基線 2 番地 1 TEL (0155) 47-5700

TEL(0155)48-8000

FAX(0155)47-5050

「ふるえ」は、よく目にする症状ですが、その原因はいろいろあり、様子をみて良いもの、薬での治療が必要なものなど様々です。中でも、コップを持ったり字を書いたりといった日常の動作時に、自分の意思に反して手や足が細かく速くふるえる「本態性振戦（本態性とは原因不明という意味）」は、ひどくなると薬も効きにくくなり、生活に支障が出てしまいます。

【テーマ】

「ふるえ」はなぜ起こる？

～パーキンソン病など、さまざまな原因とその治療～

講師：金藤 公人 氏

社会医療法人北斗 北斗病院 副院長
脳神経内科 部長（検診センター長）

「切らずに治す、 ふるえの超音波治療」

講師：古川 博規 氏

社会医療法人北斗 北斗病院
脳神経外科 医師

原因不明の震え「本態性振戦」に対する新治療「経頭蓋 MR ガイド下集束超音波治療（MRgFUS）」の臨床試験が、日本国内 3 施設の一つとして、当院では平成 27 年 3 月 31 日、男性患者様を対象に開始されました。これまでおこなった 6 例全ての患者様の震えがほとんど完全におさまり、良好な結果に感嘆の声が上がっています。「本態性振戦」に関する臨床試験は、おかげさまで多くの希望者があり、すでに予定症例数を終了するところですが、同治療は本態性振戦以外にも、幅広い疾患への応用が期待されています。

今後は、パーキンソン病の「ふるえ」に対する臨床試験が、日本で最初の施設として予定されており、他にも神経障害性疼痛、さらには脳腫瘍などの治療にも応用できる可能性も期待されています。手術による開頭などの必要性がなく、侵襲が非常に少なくすむ治療であるため、世界が大変注目している治療手段です。今回、十勝の皆様にも、日本全国に先駆けて、

この治療に関する講演会を催しました。

是非、聞きに来られませんか。

社会医療法人 北斗
北斗病院

〒080-0833 帯広市稲田町基線 7 番地 5